

【附属旭川幼稚園】質の高い保育の探求

- ・ 研究主題「質の高い保育の探求 ～幼児期にふさわしい遊びと生活のデザイン～」のもと、子供にとってふさわしい遊びが展開できる環境作り（保育室環境&園庭遊び）に視点を当てた保育方法、保育内容の実践充実に取り組んでいます。
- ・ 幼児期に育む資質・能力の三つの柱、「知識・技能の基礎」、「思考力・判断力・表現力等の基礎」及び「学びに向かう力、人間性等」を踏まえ、5歳児修了時まで育ててほしい具体的な姿を明確にし、幼児教育の学びの成果が小学校と共有されるよう工夫・改善しています。
- ・ 附属旭川幼稚園と附属旭川小学校では、幼小連携会議を定例化（年6回）して、教育活動における連携のポイントについて、協働で確認しながら幼小連携の充実を図っています。
- ・ また、園内研修として、1週間の遊びの様子を職員室内の「マップ型ホワイトボード」に掲示し、週末に活動記録を元にフォトカンファレンスを行うという取組を実施して、教員同士でアイディアや意見等の交流を行い、子どもの育ちを共有し、次週の保育計画に活かしています。
- ・ 日常のフォトカンファレンスの繰り返しにより、一人一人の子供の成長を見取るポイントが明確になり、教員の働きかけ、関わりによって、子供の主体的な遊びが生み出されるなど、子供の育ちに繋がっています。

